



2018年4月2日

各 位

会 社 名 株式会社アオキスーパー
代表者名 代表取締役社長 青木 俊道
(コード：9977、JASDAQ)
問合せ先 常務取締役管理本部長兼開発部長 黒澤 淳史
(TEL. 052-414-3600(代表))

通期業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、最近の業績の動向等を踏まえ、2017年4月14日に公表いたしました2018年2月期通期(2017年3月1日～2018年2月28日)の業績予想を修正することとしましたのでお知らせします。

記

1. 2018年2月期 通期業績予想数値の修正(2017年3月1日～2018年2月28日)

	営業収益	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	百万円 106,500	百万円 2,550	百万円 2,610	百万円 1,500	円 銭 132.31
今回修正予想(B)	106,190	1,845	1,926	955	84.32
増減額(B-A)	△309	△704	△683	△544	—
増減率(%)	△0.3	△27.6	△26.2	△36.3	—
(参考)前期実績 (2017年2月期)	105,954	2,525	2,601	1,371	121.73

2. 修正の理由

当事業年度におきましては、消費者マインドの持ち直しがみられるものの、引き続き店舗間競争の激化や生鮮食品の相場変動の影響、また、急激な労働需給の引き締めなど、依然として厳しい経営環境が続いております。このような状況におきまして当社は、既存店のリニューアル及び競合店対策を含む販売促進企画を継続実施いたしました。

営業収益におきましては、上記企画等の効果により前年同期を上回る見込みですが、前回発表予想に対しては0.3%の減少となる見込みです。利益面におきましては、生鮮商品の相場変動や品不足及び販売促進企画等の影響から、粗利益率が対前年同期比0.6ポイント減少、販売費及び一般管理費が前年同期比1.3%増加し、減益となる見込みです。

また、当社が保有する店舗に係る固定資産について減損処理を行い、減損損失277百万円、ポリ塩化ビフェニル(PCB)廃棄物の処分等費用について合理的な見積りが可能となったことから、環境対策引当金繰入額94百万円をそれぞれ特別損失に計上いたします。

以上の結果、営業収益・営業利益・経常利益・当期純利益は、前回発表予想を下回る見込みであります。

※上記予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成しております。実際の実績は今後様々な要因によって異なる結果となる可能性があります。

以 上